

リンゴ収穫交流も深化

青森・三戸 中央大OBら訪問

中央大の卒業生でつくる「白門りんごの会」のメンバーが13日、青森県三戸町を訪れ、リンゴの収穫を体験するなどして生産者と交流した。



食べ頃のつがるを収穫して味わう白門りんごの会のメンバー

りんごの会は、東日本大震災後の東北を応援しようとして、中央大の1969年の卒業生が中心となって設立した。町の活性化と同町産リンゴのブランド力向上を目指し、地元生産者の「梅内りんご組合」と独自オーナー制度を設け、毎年収穫体験ツアーを開いている。

今年で6回目となるツアーには、りんごの会の21人と同町周辺の中央大卒業生が参加。組合員の園地で、11月に収穫される「サンふじ」に「白門」の文字が入るようシールを貼った。食べ頃の「つがる」は収穫し、その場で味わった参加者は「おいしい」「満足した」と笑みを浮かべた。

近くの観光ぶどう園に移って交流会も開催。松尾和彦町長も加わり、ジンギス

カンや郷土料理を味わいながら親交を深めた。

りんごの会の活動が縁で、同町と中央大理工学研究所が今年6月、農作業負担軽減に向けたアシストスーツの実用化を目指して協定を締結するなど、町と大学の連携も始まっている。

りんごの会の松木茂夫会長(72)は「中央大が地域と協定を結ぶ例は少ないが、りんごの会がきっかけで実現したことはうれしい。今後も生産者と大学、町の三者で良い関係をつくってほしい」と話した。



増田まんが美術館が収蔵する矢口さんの原画

原画150枚仙

横手・増田 まんが美術館 あ

横手市は15日から、市増田まんが美術館に収蔵する原画を展示する移動特別企画「原画——ゲンガ——！ GENG A! ——！！」を仙台市青葉区のイービンス9階社のイベントホールで開く。10月14日まで。

漫画家の矢口高雄さん(横手市出身)、高橋よしひろさん(秋田県東成瀬村出身)、故小島剛夕さん、能條純一さん、東村アキコさんの原画約150枚を展示する。今月23日に高橋さ

★岩手県 × 闘球2

押して! 押して! 岩手をマスター

必勝! いわて

スタンプラリー

スタンプスポット

いわての

ワイド東北

平賀書簡問題が発覚

1969年 分かった。裁判への干渉として問題にな

きよしのあの日

モスクワ炎上

フランスの皇帝ナポレオン率いるフラ

1812年

シア軍は撤退し 展開し、市街地 給を断った。そ

札幌地裁の平賀健太所長が自衛隊は合憲か違憲かが争われた「長沼ナイキ基地訴訟」を巡って、担当の同地裁裁判長に手